

## 第 7 5 回小金井市市民参加推進会議

日 時 令和 8 年 3 月 2 7 日（金）午後 6 時 0 0 分～午後 7 時 0 0 分

場 所 小金井市役所第二庁舎 8 階第 8 0 1 会議室

出席委員 9 人

委員長 繁 田 進 委員

副委員長 金 尾 悠 香 委員

委 員 安 島 裕 大 委員 橋 田 壤 志 委員

百 瀬 海 委員 山 田 由加里 委員

佐 藤 康 博 委員 田 中 肇 委員

梅 原 啓太郎 委員

欠席委員 3 人

山 下 佳 穂 委員 小早川 良 信 委員

鈴 木 功 委員

事務局職員

企画政策課長 廣 田 豊 之

企画政策課係長 前 坂 悟 史

企画政策課主任 兼 堀 義 信

傍 聴 者 0 人

（午後 6 時 0 0 分開会）

◎繁田委員長 こんにちは。それでは、第 7 5 回の市民参加推進会議を開催いたします。

本日、山下委員、鈴木委員、小早川委員から欠席の連絡が入っております。また、安島委員から少し遅れるとの連絡が入っております。

定足数につきましては、市民参加条例施行規則第 2 4 条に半数をもって成立することになっております。1 2 人中 9 人御出席ということで、本推進会議は成立しているということで御報告申し上げます。

それでは、配付資料につきまして、事務局より確認をお願いいたします。

◎事務局 今回の資料は、本日机上に配付させていただいております。順に確認させていただきます。

まずは、本日の次第でございます。資料が 2 点ございまして、まず資料 1 として、「今期（第

10期)の提言に向けて」となります。資料2としましては、「包括連携協定締結大学と令和6年度の主な事業内容及び効果」になっております。それから、参考資料が1点ございまして、「令和7年度(仮称)小金井市気候市民会議募集チラシ」になっております。もし不足がございましたら、お申出いただければと思います。

以上になります。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

それでは、本題に入りまして、次第「今期(第10期)の提言に向けて」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

◎事務局 前回の市民参加推進会議では、市民参加の裾野を拡大させる具体的な方策についてのアイデアの絞り込みを行いました。委員の皆様から様々な御意見を頂戴したところでございますので、簡単ではございますが前回の振り返りをさせていただきたいと思います。

それでは、資料1を御覧ください。

前回では、若者、情報発信、参加促進の3つの分類に分けまして、様々なアイデアについて議論をいただきました。まず若者のところでは、「ガクチカ」いわゆる学生時代に力を入れたこと、ボランティアは就職活動にメリットがある、大学との連携が進んでいくとよいという意見がありました。また、安島委員より国分寺市の事例ではございますが、東京経済大学のボランティアサークルの御紹介をしていただきました。

次に、情報発信についてです。SNSが発展しておりますが、市報への掲載も大切という御意見もございました。また、小早川委員より社会福祉協議会で助成している「ふれあい・いきいきサロン」の事業があるという紹介をしていただいた一方で、市民の方になかなか知られていないという課題もございました。

最後に、参加促進でございます。主に「まちの課題カフェ」から発展しまして、カフェみたいな気軽に意見を言える場があるとよい、また、クオカードや図書カード、地域で使える商品券などのインセンティブがあるとよい等の多くの意見が出たところでございます。

事務局としまして、委員の皆様の意見を参考に市民参加推進会議としての提言につなげていきたいと思っております。

具体的な方策につきましては、資料2を御覧いただければと思います。まず、本市が連携協定を結んでいる大学等と令和6年度の主な事業内容と効果の資料となっております。市外の学校もございますが、7校と協定を結んでおります。そちらの学生に向けまして、市民参加がしやすくなる仕組みについて、アンケート等を実施できればということが1つ目でございます。

もう1つの具体的な方策につきましては、「令和8年第1回市議会定例会」におきまして、市長が令和8年度の施政方針を表明いたしました。その中の令和8年度の重要な視点としまして、様々な施策を通して若者世代の地域への興味関心を高めることを念頭に置き、無作為抽出での若者の市政参画を推奨する等、主権者としての意識醸成とともに、今後の地域人材の育成を促進しますとしております。

具体的には、参考資料を御覧いただきたいです。今年度、環境政策課より「気候市民会議」という無作為抽出で集まった市民を対象としたワークショップを開催しております。こちら、審議会の委員やアンケート調査では無作為抽出を取り入れています。しかし、ワークショップでの事例はまだ少なく、今後さらに活用していきたいと考えております。なお、令和8年度につきましては、若者向けに「気候市民会議」を開催する予定で検討しています。参加者に対して、参加前後での意識変化があったかどうかのアンケートができればと考えております。

具体的に今後調整する部分もございますが、本日は包括連携協定締結大学の更なる活用、無作為抽出の更なる活用という方向性でよろしいか、アイデア、イメージでも構いませんので、委員の皆様の御意見をいただきたいと考えてございます。

説明は以上になります。

◎繁田委員長 ありがとうございます。事務局としては、若者をターゲットとした方策を実施したいと考えております。

それでは、皆様からの御意見等ございましたら、よろしくお願いいたします。

◎梅原委員 この件で聞いてみたいことがあります、よろしいですか。

◎繁田委員長 どうぞ。

◎梅原委員 学生さんにアンケートを取りたいということですが、もう少し詳しく考えていることや事務局として聞きたいということ、行政の要望等がありましたら今の考えを教えてください。

◎事務局 事務局としてイメージしているところですが、当初の市民参加推進会議にて、審議会の委員で20代、30代の割合が少ない話をさせていただきました。最終的にその数字を伸ばしていきたいところがあります。そこにつなげるには、まず市政に関心を持ってもらうところがまず第一歩であると考えております。

具体的に聞きたいことですが、自ら積極的に情報収集をして参加していただいたのではないかと考えていますが、参加に至るまでの経緯は何かというところを聞いてみたいです。

アンケートが難しい場合、実際にヒアリング等も検討しなくてはいけないと考えております。

今年度、総合学院テクノスカレッジさんの取り組みに「シヴィルマリッジ」がありました。市の公共施設を使って市民結婚式を行うものです。このように学生と行政で連携し何か取り組めることはまだまだあるのではないかと考えております。

◎梅原委員 ありがとうございます。

◎繁田委員長 どうですか？百瀬さん、学生として。

◎百瀬委員 アンケートの仕方は重要であると思いました。若者世代がよく見るのは、インスタのストーリーやXなのでそこへ誘導する形がよいと思います。

また、私がなぜこの会議に参加しているかですが、無作為抽出で選出されたのがきっかけであり、この会議のことは何も知らなかったです。インセンティブも参加すると貰えるのでやってみようと思いました。

◎繁田委員長 学生さんはインセンティブ大事ですね。

◎百瀬委員 そうですね。

◎繁田委員長 橋田さん、どうですか。

◎橋田委員 大学のプログラムに組み込むのはどうですか。何かのために役に立つことがはっきり分かっていた方が参加しやすいのではないかと思います。

◎繁田委員長 大学でキャリア形成の授業を持っていますが、インターンシップは既に行きましたか？

◎百瀬委員 行きました。

◎繁田委員長 現在のインターンシップは様々であり、1 DAYインターンシップやZOOMのインターンシップもあります。インターンシップに参加することにより、インセンティブを貰いながら就職活動になるのはいいと思います。また、授業の1コマを活用して小金井市役所を見学することもできます。授業なら学生も参加しますよね。

◎百瀬委員 そうですね。

◎繁田委員長 授業でお金が出せるのかどうかは別として。

◎百瀬委員 公務員になりたい学生もいるため有意義かと思います。

◎繁田委員長 現在、私ができることは授業の中で私の学生を連れてくることです。学生を中心に市民参加しやすい仕組み作りは何かありますか？山田さんはどうですか。

◎山田委員 特に思いつかないです。

◎繁田委員長 佐藤さんはどうですか。

◎佐藤委員 先程のSNSの案ですと、小金井市に絞れるのかというのは気になります。また、単位が出るような形で、小金井市の寄附講座を行うと良いと思いました。

楽単であれば、生徒がいっぱい来るのかもしれませんが。学生に興味を持ってもらうという意味では一つ良いと思います。

◎繁田委員長 行政について勉強しようという意味ですね。

◎佐藤委員 私が通っていた大学院ですと、夏にインターンシップとして法律事務所へ1週間程度行きます。1週間のインターンシップを終えますと、単位を1単位だけもらえる仕組みがありました。学生が集まるきっかけにはなるのかもしれないですね。

◎繁田委員長 本日、お昼にアントレプレナーシップの全国報告会がありました。国立大学も授業中に企業の方に来てもらい、宣伝やアイデアをもっていました。そのようにして、企業と提携してやっておりますので行政と提携してやるのも良いと思います。

◎佐藤委員 現在、大学院に通い学生の様子を見ていますと、プラスアルファのことをやっている時間はないと思います。単位が出る、何かしらの飴がないと難しいと思います。

◎繁田委員長 何か縛りが必要ですね。ありがとうございます。

田中さんはどうですか？

◎田中委員 「まちの課題カフェ」についてですが、大学の図書館にてこんなことをやってい

ますと話をします。その中で学生が、恋活イベントというのがあるとした際に非常に関心を示し、そういうのに参加したい、近くにあれば出てみたいと思うのではないと感じます。

◎繁田委員長 恐らく、学生は知らないだけで参加しますと人脈が広がり、学生にとってもよいですね。

◎安島委員 人と出会い、人とつながると、その後につながりやすいと思っております。最初のインセンティブは単位が貰えることであっても、そこで出会った人に誘われてまた関わることでつながりが増えると思いました。私がいた国際基督教大学では、「サービス・ラーニング」という単位がもらえる制度があります。地域の様々な事業者や、NPOへお手伝いに行くことにより単位認定されることがありました。それに似た形で何かできる可能性もあるかと思いました。

◎繁田委員長 金尾先生は何かありますか？

◎金尾副委員長 今話題になっていた行政に御協力いただき、職場にお伺いをし、行政で問題になっていた「空き家対策」について小金井市でやっていただいたものがございます。私の学科で必修単位としてやらせていただきました。

組立てによっては皆様がお考えになられている市民参加の一端を担えると思いますが、大学からは、専門分野としての学識経験を積めるということが大学側からの要請。行政側は、通常業務がありますので、あまり負担増になってしまっただけとはいえないことがあると思いますが、市民参加の発端になり、市民参加を積極的に取り組んでいる市ですというアピールができます。そのため、負担とのせめぎ合いで講座をつくり上げないと継続的にはできないのではないかと思います。しかし、恐らく小金井市だけで市民参加の取組みを行うと行政にとってはかなりの負担になると思います。他自治体も巻き込んで市民参加をやっているとアピールができる連合軍を作っていただき、学生には単位のインセンティブを与えるという形であれば実現できるのではないかと思います。

ただ、インセンティブは難しく、うまくいかない場合があると思います。楽単だと思って参加しますと、取りあえず行けば良いという気持ちで参加する学生がいると思います。委員になるわけではないので、行政は市民参加の入り口として寛容な対応が必要になることがあると思います。

また、教育関係だと広く一般にどこに住んでいても良いということですが、行政からするとやはりそこに紐づいてないといけないと思います。学生を活用しつつ、学生以外的小金井市に住んでいる若者や大学に通っていない若者がいらっしやと思います。委員会としては、大学に通っていない若者というカテゴリーも必要であると思います。学生のみにはフォーカスしがちですが、学生以外の若者にも御配慮いただいたほうが良いと思いました。

◎繁田委員長 そういう意味では小金井市民の方に来てもらいたいですよね。

◎金尾副委員長 できればという感じですね。

学生にアプローチする際に、五月雨式ですと学生は反応しなかったりします。

委員に応募するタイミングがルーティーンのように毎年あったりすると良いと思います。4月のガイダンスやオリエンテーションの際でも良いと思います。

◎繁田委員長 インターン枠みたいな感じですか？

◎金尾副委員長 そうです。市民参加解禁日のようにすると継続し、アプローチしやすいと思うので小金井市はどのように周知しているのか気になります。

◎事務局 市民参加の周知についてですが、ホームページと市報につきましては4月に「パブリックコメントがありますよ」や「公募の委員を募集がこれだけありますよ」のような呼びかけを一覧で掲載しております。

◎金尾副委員長 あるのですね。

◎事務局 今年度につきましては、市報4月1日号に掲載しておりますが、紙面が取れず詳細につきましては、QRコードよりホームページにて御覧ください。

◎金尾副委員長 年1回ですか？

◎事務局 年1回です。

ただ、募集はそれぞれの委員会ですのでタイミングはバラバラであり、一覧から委員会を選択する仕組みはできておりません。

◎金尾副委員長 一覧にはなっているが、締切日が違いますね。

◎事務局 そうです。申込みの窓口も課によって異なり、募集期間、スタート時期もそれぞれです。

◎繁田委員長 そう考えると、この市民参加推進会議は貴重ですね。

小金井市は、毎年何人ぐらい職員の応募がありますか？

◎事務局 年度によっても違います。

◎繁田委員長 2桁ぐらいですか。

◎事務局 3桁は絶対いかないです。

◎繁田委員長 多いですね。

◎事務局 そうですね、年によっても違いますが。

◎繁田委員長 職員は小金井市民の人が多いですか？

◎事務局 全体ですと、小金井市民で市役所職員は3割を切っていると思います。

◎繁田委員長 3割ですか。

◎事務局 以前はもう少し割合が高かったです。

◎繁田委員長 市内に住んでいないと、課題解決や具体的なものは出てこないですよ。

学生の就職と直結できれば一番いいですよ。

◎事務局 そうですね。

◎繁田委員長 例えば、無作為抽出でも、学生中心に届くようにすることができるかと思います。

◎百瀬委員 市から自分宛てに手紙が届くと、何かやらかしてしまったのではないかと、払い忘

れがあるのではないかと驚きます。

◎繁田委員長　そうですね。

◎百瀬委員　SNSにて範囲を絞ることは大変であると思いますが、直接的に意見を取れます。

◎繁田委員長　市民参加推進会議の無作為抽出は断る人もいらっしゃいますか？

◎事務局　いらっしゃいます。

何十人にもお手紙を出させていただいて、お返事をいただける方は僅かです。

◎繁田委員長　1割ぐらいですか？

◎梅原委員　1割いないくらいです。

ちゃんと中身を読んでいただけるというところからのスタートなのかもしれないです。

◎金尾副委員長　無作為抽出はどのようにされていますか？

◎事務局　情報システム課へ依頼をし、機械的な無作為によりこちらから通知を送っております。

◎繁田委員長　小金井市在住の指定した大学に、無作為で1,000人ぐらい送れば、10人ぐらいは返事がありますかね？

◎金尾副委員長　無作為抽出の更なる活用は、御紹介いただいたワークショップを通じて市民生活における課題を発言してもらい、参加者につきましては無作為抽出を実施するという方針ですか？

◎事務局　一般的に行政にて説明会等を実施する際には、普段から声を上げている方の参加が多いと思っております。しかし、サイレント層の意見も行政としては取り入れたい部分がございますので、無作為抽出の活用ができれば、なかなか意見を今まで出してこなかった人の意見も取り入れることができると思っております。

◎繁田委員長　サイレント層の意見を聞くというのは、なかなか難しいですね。意見がないからサイレント層ですから。

◎梅原委員　無作為抽出の活用が、先程の気候市民会議のワークショップ、この会議でやっているような審議会の委員さんに対してお願いする方法の2つになります。

◎金尾副委員長　現在の無作為抽出ですと、ワークショップを行政が立て、参加してくれませんかという働きかけだったと思います。「まちの課題カフェ」にて読書会やイベント等の話があったかと思いますが、市民発信のイベント共有やワークショップ共有に行政が関わるというのは小金井市にはありますか？市民協働センターや創業支援センター等の拠点にて「まちの課題カフェ」のように気軽に意見を言える場として活用し、行政が市民参加を働きかける協力体制が築けると良いと思いました。

◎繁田委員長　前回出ましたよね。そういうのを作ったらどうかと。

◎梅原委員　小金井市も、現在は準備室という形ですが「市民協働センター」が令和10年頃にオープン予定です。

◎安島委員　少し話が逸れますが、先程、市役所の新入職員についてのお話があったかと思い

ます。社員研修など新入職員の方々と共に一緒に取り組む機会がありますか？

◎事務局 新人研修はありますが、座学になります。また、NPO法人へ派遣し経験を積ませるものがあります。

◎安島委員 新人研修の枠組みを活用して、市民参加に関われる仕組みをつくり、具体的なアイデアを出してもらうなど研修でアウトプットとして考えることはよいと思いました。また、プロジェクトという形で新人がやり遂げることで、市のことも深く知ることが出来ると思います。

◎繁田委員長 いいアイデアだと思います。

本日のキーワードとしては、「無作為抽出」と「新人研修」ですかね。あと、学生については小金井市民ですよね？

◎事務局 小金井市民としての意見を聞きたいところもありますし、小金井市に住んでいなくても通ってきている立場から見た意見も頂きたいと思っております。

◎繁田委員長 それでは、小金井市民かどうかには拘らず、とにかく若者に話を聞くということですね。

◎事務局 他市の事例ですと、審議会で紹介制度があったりしますのでそれも方策の1つであると思います。

◎繁田委員長 それでは、事務局は委員の皆様からの御意見を参考に、ブラッシュアップしていただきたいと思います。

続きまして、次第2「その他」について、事務局からお願いします。

◎事務局 令和7年度の市民参加推進会議につきましては、本日をもって終了となります。

次年度、令和8年度につきましても、計4回の開催を予定しております。次回は7月頃の開催を予定しておりますので、また改めてメールにて日程調整のほうさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◎繁田委員長 それでは、また別途事務局から調整があるということですのでよろしくお願いいたします。

その他、何かある方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは、これをもちまして第75回市民参加推進会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

(午後7時00分閉会)